



令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール講評



山形県審査（第2次審査）審査員 佐藤 満

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている状況にあり、多くの学校が対応に苦慮する状況でしたが、県内の小学校、中学校、高等学校から 1,956 点もの質の高い、数多くの応募がありました。

コロナ禍で、このように多数応募されたこのコンクールが、長年にわたって続けられていることは、明るい選挙推進協議会関係者や多くの方々の多大なご努力と、選挙啓発の重要性を理解して、ご指導いただいた学校の先生方や保護者の方々のご支援のお陰かと心から感謝申し上げます。また、応募して下さった児童生徒の皆さん本当にありがとうございます。

応募作品は、小学1年生から高校3年生までの、それぞれの年齢での表現のよさがあり、その時期だからこそ感じられることや考えられることを大切に表現しており、どの作品も「明るい選挙」という共通のテーマを基に、子供達の思いのこもった力作がそろってありました。

ですから、審査に当たっては、どの学年の作品を選ぶ時も、大変苦労しました。それは、単に絵の上手さだけを見るのではなく、それぞれの発達の段階における、子供の表したいことが感じられるかどうかや、発想や構想力、独創性、表現する技能などを、総合的に読み取るように、努力しました。

ポスターとは、自分の思いや考えなどを、絵と言葉で見える人に伝えるものです。児童生徒一人ひとりが感性や想像力を働かせて目的を自ら考え出して自分で答えを作り出す活動です。今回のポスター制作を通して、選挙に関しての理解が広がると共に、相手に伝えるためにどのように工夫すればよいかをよく考えたことと思います。

では、良いポスターとは、どんなものでしょうか。

- ① 目的やテーマをしっかりと伝えている事。
- ② 主題を目立たせるなど、印象的に仕上がっている事。です。

具体的に申しますと、

- ① 「明るい選挙」というテーマを、伝えているかどうか。
- ② 主題又は主役（例えば、投票する人の図柄や18歳というコピーなど）が堂々と目立っているか。つまり、主役が目立つような配色や構成、書体などの工夫がされてあるかどうか。主役がしっかり伝わると、それだけ印象深いポスターになります。
- ③ 粘り強く、丁寧な表現は、より魅力のあるポスターにします。
- ④ ポスターでは、明るく、爽やかに、誘いかけることが大切です。
- ⑤ 選挙啓発ですので、政党名を連想するコピーは除外しました。
- ⑥ 同じ内容なら、支持体（画用紙）は、大きい方が印象的です。

おわりに、今回のコンクールに応募した皆さんは「明るい選挙」というテーマから自分の身の回りや社会に目を向け、感じたことや考えたことなどから、創造的に発想や構想をし、試行錯誤しながら表現しておりました。そして、この活動は、単に決まった答えを求めるのではなく、感性や想像力を働かせて自分で答えを創り出す活動でもありました。ですから、

ポスターを描くことを通して身に付けた資質や能力は、生涯にわたって生きて働く力となることと思います。

では、県審査で特選に選ばれた中から8作品について講評いたします。

● 小学2年生の沼澤 叶さんの作品は、

「家ぞくみんなで せんきょに行こう！」の言葉が、描かれた絵に合っており、全体がスッキリしています。この絵のように皆が楽しい気持ちで選挙に向かって欲しいという作者の気持ちが伝わって来ます。

● 小学5年生の松田 依知佳さんの作品は、

カエルを画用紙いっぱい描き、「この一票でひっくりカエル」というコピーもユーモラスでアイデアが面白い。相撲好きばかりでなく誰でも目を引く印象的な画面に仕上がり、投票に行くことの大切さが伝わってきます。

● 小学6年生の長瀬 里花さんの作品は、

文字や図柄の構成がよく、スッキリとした印象的な画面になりました。また、やさしく投票に誘いかけながら最後まで丁寧に描いていて、明るい選挙の大切さがとてもよく伝わってきます。

● 中学2年生の高橋 陽愛さんの作品は、

コイと投票箱を組み合わせたアイデアが斬新です。また、背景が黄一色のため、コイとコピーがバランス良く目立ち、見る人を楽しませてくれます。投票に行くことの大切さが明確に伝わってきます。

● 中学2年生の榎 穂香さんの作品は、

18歳の少女から、初めての公の選挙に嬉しさと責任感、そして、真剣さが伝わってきます。そして、明るい選挙を自分事として捉えることの大切さを伝えてくれています。

- 中学2年生の遠藤 美波さんの作品は、
一人ひとりの一票が投票箱の中で未来に繋がっていくことを伝えてくれています。また、笑顔が可愛いくて丁寧な表現は、言葉通り明るい選挙を呼びかけるポスターになりました。
- 中学2年生の片平 夏南斗さんの作品は、
詰め込みすぎずに、図柄とコピーがスッキリすれば、もっと良くなる作品です。
- 高校1年生の村田 実織さんの作品は、
画面中央に、選挙権を持つ18歳の女学生を描き、選挙権を大切にすること。選挙についてしっかりと考えることの大切さを伝えています。

本当にありがとうございました

